

2021年度団体受験 <2級特例試験> 詳細

2021年度(2022年3月末まで) 2級団体受験をお申込いただく際は、3パターンの形式から受験方法を選択してください。通常登校をしている方を対象とする場合は①または③を推奨します。
使用する資材や問題用紙が異なりますので必ず受験申込時に申告をお願いします。

- ①特例によるセルフメイク試験を**団体内会場**で行う(現場での審査※派遣の場合は事前相談)
- ②特例によるセルフメイク試験を**在宅等**で行う(画像での審査)
- ③従来通りのモデルへのメイク試験を**団体内会場**で行う
(現場での審査※派遣の場合は事前相談)

«①セルフメイクを団体内会場で行う、実技試験について»

○メイク審査

受験者を教室等に集合させオーダーの発表、各受験者がセルフメイクを行い完成後審査員が目視で審査。自校実技審査員、または検定事務局より派遣する審査員による一斉審査を行います。

※マナー審査のマークシート問題と合わせて30分間の試験時間が基本です

※自校実技審査員による審査では従来通り、確認用のメイク画像を提出してください。

会場での実技試験実施時は各団体で定める感染予防策に加え検定事務局による
感染予防対策ガイドラインも厳守していただくようお願いいたします。

☆メイクセラピー検定 会場実施のガイドライン☆

- ・入場時に手指消毒を行う
- ・受験座席は同一方向に向け1m以上の間隔をとる

※各会場の事情により判断可

- ・会場内での私語は禁止する
- ・入場はマスクの着用を必須とする
- ・メイク時間のみマスクを外す
- ・メイク道具の衛生管理を行い、貸し借り、共有はしない
- ・風邪症状や発熱している方の受験、入場は禁止する

※審査員、試験監督も受験者と同様にガイドラインを厳守